



第12回倉敷音楽祭

ミュージカル
う ら

温羅と桃太郎

原 作 なんば・みちこ
台本・作曲 青島 広志
(委嘱初演)

日 時 平成10年3月14日(土)午後6時30分
15日(日)午後2時

会 場 倉敷市民会館

主催:(財)倉敷市文化振興財団 倉敷市

共催:倉敷市教育委員会

作者プロフィール

原作



なんば・みちこ

総社市在住。詩人。
日本現代詩人会会員。日本詩歌文学館評議員。岡山県詩人協会理事。
詩の雑誌「火片」「舟」、文芸誌「総社文学」同人。
詩集『高梁川』『とんと立つ』『伏流水』『現代詩文庫なんば・みちこ詩集』詩・写真で綴る『高梁川流域の四季』（写真 宮本邦男）等。

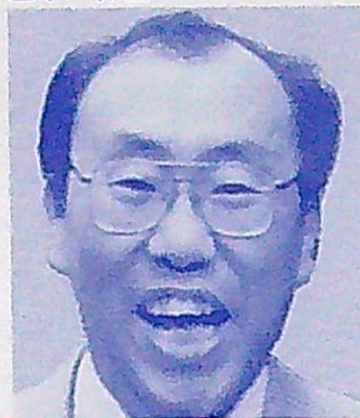
幼稚園園歌、校歌等作詞多数。総社市制

40周年記念交響詩曲「吉備路」作詞。

「第4回岡山県文学選奨」「岡山出版文化賞」「聖良寛文学賞」等受賞。

前総社市総合文化センター館長。

台本・作曲



青島 広志

東京芸術大学・大学院作曲科を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」は芸大図書館に購入され、過去二回の東京都芸術祭主催公演となる。他に「火の鳥」をふくむ7作のオペラ、「スサノオ」をふくむミュージカルや数多くの合唱曲など、作品は多岐にわたる。ピアニスト、指揮者としても活動し、近年では国民文化祭、国民体育大会などの音楽や構成、司会なども手がけている。NHK「ゆかいなコンサート」「みんなのコーラス」レギュラー。演出家としても同番組の構成・台本から、オペラまでを任された。

現在、東京芸術大学・都留文科大学・都立芸術高校各講師、東京室内歌劇場運営委員、日本現代音楽協会・作曲家協議会・音楽著作権協会各正会員。

ものがたり

一幕……桃太郎は、育ててくれた老夫婦に別れを告げ、自分の故郷を探しに旅に出る。途中で仲間に加わった猿・雉・犬と、ある村につくと、村長の娘アソヒメが鬼に拐われたという話が。アソヒメの絵姿を渡された桃太郎は、村長の家に仕えるたみの心配をよそに、三匹を連れて鬼の城があるという山に登り、鬼の首領であるウラと対決する。

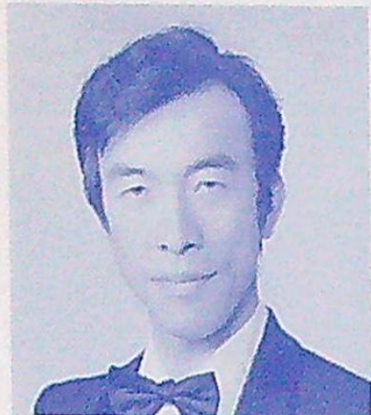
二幕……鬼の城ではきょうも宴会が開かれている。捕えられた桃太郎たちも参加が許されており、アソヒメも姿を見せる。酒に酔った鬼たちが寝入った後、桃太郎はアソヒメに村に帰るように進言するが、彼女は、村長は自分の父ではなく、政略結婚させられそうになり、自殺しようとしたときにウラがここに連れて来たことと真実をうち開け、ウラを愛していることを告げる。悩む桃太郎の夢に、別れて来た老夫婦が自分を待つ姿、アソヒメを早く連れ帰れとなじる村長、それに自分に恋心を寄せるたみが現われる。決心した桃太郎は三匹に火を放つよう命じ、ウラと戦うが、形勢は不利である。あわや、と思われた瞬間、後について来たたみが桃太郎をかばい、ついにウラは桃太郎にたおされる。しかし、アソヒメは人里に帰らず、ウラの魂を守って、鬼の母親になることを宣言し、山中に姿を消す。桃太郎は、たみの亡骸を抱いて、とほとほと老夫婦の待つ村へ戻ってゆく。（青島広志）

音楽ナンバー（作曲 青島広志）

- | | | | | |
|----|-------------------------|----------|--------------------------|---------|
| 1幕 | M1 月が隠れりゃ（老夫婦／子供たち／合唱） | なんば・みちこ詩 | M2 あん日もこんないい陽気（老夫婦／子供たち） | 青島 広志詩 |
| | M3 いつもどこかで（桃太郎） | 青島 広志詩 | M4 ゆくゆく歩いて（三匹／合唱） | |
| | | | マザー・グースの歌／谷川俊太郎訳詩 | |
| | M5 鬼ごっこ（子供たち） | なんば・みちこ詩 | M6 ほくは桃太郎（桃太郎） | 青島 広志詩 |
| | M7 アソヒメの声（アソヒメ） | 青島 広志詩 | M8 絵姿のアリア（桃太郎／三匹／たみ） | |
| | | | モーツァルト作曲／青島 広志詩 | |
| | M9 ゆくゆく歩いて | | M10 ほくは桃太郎 | |
| 2幕 | M11 ソロモン・グランディ（合唱） | | M12 都会は優しい毒薬のロック（合唱／三匹） | 井上 ひさし詩 |
| | マザー・グースの歌／谷川俊太郎訳詩 | | M14 フルツとブルース（管弦楽） | |
| | M13 ほうや ほうや いたずらほうや（合唱） | | M16 夕べ夢を見た（ウラ） | 青島 広志詩 |
| | マザー・グースの歌／谷川俊太郎訳詩 | | M18 ウラとアソヒメの二重唱（ウラ／アソヒメ） | 青島 広志詩 |
| | M15 白い妖精（アソヒメ／女声合唱） | こやま 峰子詩 | M20 夢（老夫婦／村長／たみ／ウラ） | 青島 広志詩 |
| | M17 すき きらい すき（アソヒメ） | 青島 広志詩 | M22 行け桃太郎（桃太郎） | 青島 広志詩 |
| | M19 落ち葉たく火は（合唱／三匹） | なんば・みちこ詩 | M24 ウラの死（ウラ／アソヒメ） | 青島 広志詩 |
| | M21 寄せては返す波の音（合唱／三匹） | なんば・みちこ詩 | M26 すももも桃（子供たち） | 青島 広志詩 |
| | M23 ひゅうと鳴るのは（ウラ） | なんば・みちこ詩 | | |
| | M25 子守歌（アソヒメ／合唱） | なんば・みちこ詩 | | |

キャスト

温 羅



秋山 啓

島根大学教育学部特設音楽課程声楽専攻卒業同専攻科修了。森山俊雄・吉田功・黒岩悟・木下武久の諸氏に師事。ジョイントリサイタル3回開催。過去女声合唱団「なでしこ」(全国大会出場)及び川崎製鉄水島混声合唱団を指揮。昭和53年以来岡山市民合唱団「鷺羽」に所属し発声指導を担当。昭和54年中国二期会所属以来毎年数本のオペラに出演し続け、これまでオーケストラ・指揮・演出付きの本格的オペラ出演は30数本に及ぶ。多数・多彩なキャラクターを保持するバリトンとして中・四国地方で数多くのオペラ&ソロ活動を展開中。

現在、岡山女子短期大学助教授

阿曾ひめ



高橋 昌子

愛知県立芸術大学音楽部声楽科卒業。同大学院修了。

イタリア国立ヴェルディ音楽院に留学。矢部礼子、小島琢磨、東敦子、R. リッチ、西内玲の各氏に師事。大学卒業時に桑原賞(愛知県知事賞)を受賞。第21回日伊声楽コンクール第1位。日本演奏連盟賞受賞。NHK洋楽オーディションに合格。オペラでは「魔笛」のパミーナ、「ワカヒメ」のワカヒメ役、「ラ・ボエーム」のミミ役などの主役を演ずる。その他、「第九」や宗教曲のソリストなど幅広く活動している。

現在、岡山大学教育学部助教授、中国二期会会員、日伊音楽協会会員。

桃太郎



松本 敏雄

愛知県立芸術大学音楽部声楽科卒業。高橋賢亮、洞谷吉男、睦子、バルディ諸氏に師事。最近では、オペラ「泣いた赤鬼」「北風と太陽」「ラ・ボエーム」等に出演、「ワカヒメ」では虚空役を務める。また、岡山パッサ・カンタータ協会のドイツ、オーストリア公演ではモーツァルト管弦楽団と共演、テノールソロを務める。その他、市町村、学校公演をはじめ多数演奏活動を展開している。

現在、中国二期会、岡山パッサ・カンタータ協会、トロヴァトーリ岡山、ヴォーカルアンサンブル津山等に所属。

た み



田口えつ子

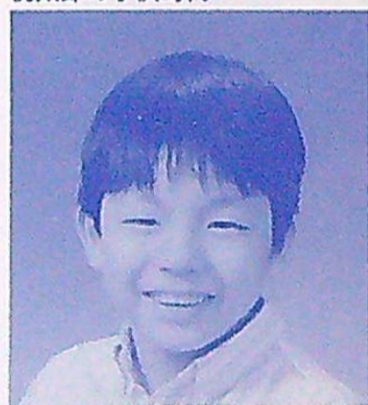
京都女子大学文学部教育学科音楽教育学専攻卒業。

田村忠男・矢内淑子・白石敬子の諸氏に師事。

岡山県新人演奏会、倉敷音楽協会主催の演奏会、中国二期会主催「歌曲の夕べ」、「オペラ OPERA おべら」、岡山シンフォニーホール開館5周年記念公演オペラ「ワカヒメ」、「オペラハイライトの夕べ」等に出演。

現在、倉敷市立連島中学校教諭、中国二期会準会員、倉敷音楽協会会員、くらしき作陽大学オペラマイスタークラス研究生。

桃太郎の子供時代



阿曾沼陽登
(小学生)

おじいさん



金池 兼広
(公務員)

おばあさん



金池多規子
(公務員)

イヌ



澤木 聖子
(高校生)

サル



花田真知子
(大学生)

キジ



藤原亜紀子
(小学校講師)

村長



白神 和夫
(会社員)

賄頭



村上 康子
(会社員)

オババ



大橋須美子
(日舞指導)

キャスト



阿曾沼文月
(小学生)



阿多亜里沙
(小学生)



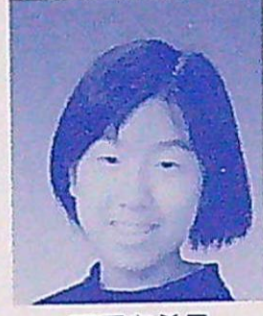
荒木ひろ美
(中学生)



石合 彩加
(中学生)



石原 愛子
(小学生)



石原有希子
(小学生)



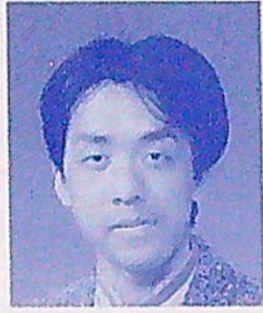
石原利江子
(小学生)



石原和加子
(中学生)



市村 和子
(主婦)



井上 朋也
(会社員)



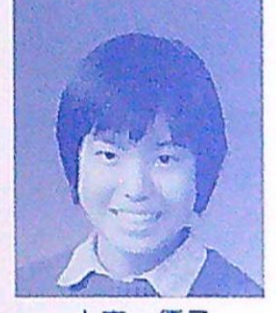
上野 智美
(高校生)



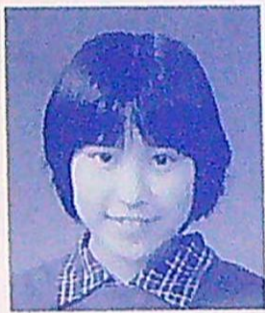
大杉 愛
(小学生)



大森 功資
(大学生)



大森 優子
(中学生)



岡本 典子
(中学生)



荻原 直美
(小学生)



小椋 裕子
(学校職員)



小野 潤
(小学生)



垣野 展子
(小学生)



金池 晴香
(小学生)



金池 康葉
(小学生)



河合 裕子
(大学生)



神田 麻希
(中学生)



栗木 春奈
(小学生)



上月 温子
(高校生)



白神 隆志
(会社員)



杉岡 睦子
(高校生)



千田 彩織
(小学生)



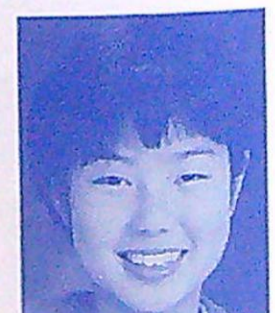
高田美智子
(会社員)



立河 由美
(中学生)



立間みずほ
(ピアノ講師)



谷 奈央子
(中学生)



田村 桃子
(中学生)



鳥越 智子
(小学生)



中桐 由貴
(小学生)



早田 佑佳
(小学生)



原 愛実
(小学生)



藤澤由紀子
(大学生)



松本 春香
(家事手伝い)



三原 啓資
(会社員)



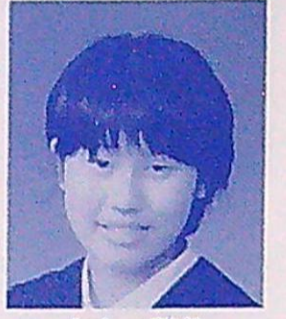
三宅 陽子
(短大生)



矢吹 明香
(中学生)



山内 彩加
(中学生)



山内 菜美
(中学生)



山内 悠加
(小学生)



山田志穂美
(小学生)



山田 希望
(小学生)



山畑 美雪
(高校生)



和田 信乃
(大学生)



渡邊 進也
(高校生)

アシスタントスタッフ



家野 淳子
キャスト・スタッフの皆さん、ご苦労さまです。



有田 聖子
観客同様スタッフも舞台を楽しみたいです。



今川真由美
たくさんの出会いとパワ-に感謝して...



大倉 弘恵
みんなで力を合わせて楽しい舞台にしましょう。



小林由紀子
楽しい舞台になるようにお祈りしています。



坂崎 麻弓
すてきな本番になるよう裏舞台で頑張ります。



貞平佳恵子
心を1つにして素敵な舞台にしましょう。



竹村 知子
出演者の思いが皆さんに届くと嬉しいです。



平井 敦子
歌・演技・踊りと大変だけど、がんばろうね。



藤井 克子
あなたの心が客席まで届きますように。



宮崎 由香
半年間頑張ってきました！その結果は？



吉田 誠一
みなさん、ごゆっくりとお楽しみ下さい。

スタッフ

総監督



鈴鹿 正

テノール歌手としてヘンデル「メサイア」・ハイドン「天地創造」・オルフ「カルミナブラーナ」・シヨスタコービッチ「森の歌」など独唱する。倉敷少年少女合唱団の団長・指揮者として、平成6年夏国際音楽教育協会（ISME）のきびしいオーディションに合格し日本から1団体アメリカ合衆国フロリダ州タンパ市において演奏する。

また、昨年BMGビクターのCDに新曲7曲を録音し全国発売される。

音楽祭のミュージカルは「11びきのネコ」・「アジア太平洋の仲間たち」・「坂道は風のとおり道」そして、岡山弁護士会の「メランコリックキッズ」などを企画制作し、その総監督をつとめる。

倉敷南高校・里庄中学校の校歌を作曲する。

現在、倉敷音楽協会会長・倉敷新聞に音楽評論など書いている。

振付



後藤田 恵子

(社)日本バレエ協会永久会員・中国支部運営委員
岡山バレエ協会会員・岡山バレエカンパニー発起人
日本フラメンコ協会会員
倉敷シティバレエ主宰
(社)日本薬剤師会会員

音楽指導



小山 裕章

広島大学教育学部音楽科卒業。
倉敷青陵高等学校、岡山女子短期大学に勤める。その間、岡山県合唱連盟理事長、倉敷市合唱連盟理事長、倉敷音楽協会理事長、倉敷管弦楽団団長などを歴任し、多くの合唱団の指導に当たる。
現在、倉敷文化ソサエティー音楽部部長、倉敷市文化連盟理事、倉敷市民合唱団、女声合唱団「ゆう」指揮者、倉敷市民吹奏楽団グリーンハーモニー団長、吉備高原学園高等学校非常勤講師。

指揮



菊池 東

広島大学工学部卒。
広島交響楽団・東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、etcを経験し昭和48年帰岡。昭和49年、仲間と共に倉敷室内管弦楽団（現倉敷管弦楽団）を創立。以来現在まで23年間にわたり同楽団の常任指揮者として、岡山・新見・高梁・総社・日生・瀬戸・真庭・坂出など各地で演奏会を開催、倉敷音楽祭においては近隣、オーケストラ・プラスバンドの客演指揮もおこなう。シヨスタコーヴィッチのオラトリオ「森の歌」ヘンデルの「メサイア」ミュージカル等を指揮し好評を得る。(又、ヴァイオリン奏者としてリサイタルの他、倉敷音楽協会、玉島蔵の中コンサートetcの演奏会でソロ・室内楽の演奏活動も続けている。)

ピアノ



河合知香子

第10回若い芽コンサートにて岡山室内管弦楽団とベートーヴェンピアノ協奏曲第1番を共演。第23回山陽学生音楽コンクール第1位(中学生の部)。第25回山陽学生音楽コンクール第2位(高校生の部)。
広島大学教育学部教科教育学科音楽教育学専修卒業。
岡山県新人演奏会出演。北九州芸術祭 クラシックコンサート出演。岡田恵子、西光千代子、佐藤紀美子の各氏に師事。
現在、倉敷少年少女合唱団にて伴奏を担当。

美術



藤原 郁夫

全国高等学校総合文化祭が岡山で開催されたのは、今から約10年も前のことですが、その時、総合開会式の舞台美術を担当しました。
それ以来、この仕事に面白さを覚え倉敷市が行ったミュージカル「パースデーパーティー」「11匹のねこ」などに関係してきました。
このたびは、片山俊介先生とアイデアを出し合いながら簡素な装置で最大限の効果を発揮できるよう工夫しました。
使いやすく、出演者、観客共に満足できる舞台になることをねがっています。
昭和10年9月19日生 岡山大学卒。
現在、倉敷市立美術館職員

美術



片山 俊介

多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒。
第13回全国高等学校総合文化祭・岡山 総合開会式美術担当。
平成三年度岡山県芸術祭中心公演「鬼・風のなかへ」美術担当。
現在、岡山県立倉敷天城高等学校勤務。

舞台総監督



田和 伸二

1975年舞台監督集団<ザ・スタッフ>に入社。小栗哲家、加藤三季夫、田原進諸氏に師事。以後東京二期会オペラ公演のほぼ全作品、ポリジョイ・レニングラード・キエフなどのバレエ公演、三越劇場、村松英子主演「どんな・がらしゃ」南沙織・研ナオコのオンステージなどに係わる
1979年「夕鶴」中国(北京・天津・上海)公演に舞監部として参加
1980年関西二期会・日生オペラ教室共同制作の「セヴィリアの理髪師」で舞台監督としてデビュー。また、演出家、鈴木敬介、西沢敬一諸氏の助手を務める。
1982年故郷福山に帰り、オペラを中心にバレエ・演劇などで中・四国・九州で活動する。
1994年舞台監督集団<タフ・スタッフコラボレーション>を興す。

舞台監督



柴田 利明

岡山県高等学校芸術文化連盟特別部会芸術フェスティバル委員、岡山県高等学校演劇協議会備北地区事務局、岡山県高等学校演劇指導者講習会企画運営委員長を経て、現在、岡山県高等学校演劇協議会事務局長、中国高等学校演劇協議会ならびに全国高等学校演劇協議会理事。岡山県立高梁高等学校演劇部顧問として、演劇指導に携わり、演劇部は平成6年岡山県高等学校演劇発表会で第3位(津山市教育委員会教育長賞)を、また、平成7年には第1位(岡山県教育委員会教育長賞)を受賞し、中国大会に出場した。

舞台監督



岡本 武彦

岡山県立矢掛高等学校で演劇部顧問。顧問になって9年目。今回、縁あってお手伝いさせていただくことになりましたが、ミュージカルは普段やっていることと勝手が違うので戸惑うことも多かったです。しかし、皆さんの熱気はたいへんなもので、多少の困難は吹っ飛ばしてしまっただけです。毎週の練習はけっこう参加が大変でしたが、夜遅くまで打ち合わせをするスタッフの方々の熱気はいたく感動するばかりでした。言いたいことをどれだけ表すことができたかはよく分かりませんが、楽しんでいただけたら幸いです。

楽譜



川添 孝士

作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)音楽学部音楽学科(チェロ専攻)卒業。
チェロを松下修也・渡辺紘二郎の各氏に師事。卒業後は後進の指導に当たると共に、オーケストラや室内楽の客演奏者として活躍。また近年はコンクール・発表会等の伴奏ピアニストや編曲者としても活躍。
現在、倉敷ジュニアフィルハーモニーオーケストラ副指揮者、倉敷アカデミーアンサンブルチェロ奏者、倉敷市立玉島高等学校・市立工業高等学校・市立精思高等学校・山陽高等学校(音楽教養コース)の非常勤講師。

[演奏] 倉敷管弦楽団

倉敷管弦楽団プロフィール

1974年に設立以来24年間「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団として活躍しています。82年には岡山県文化功労賞、85年には倉敷市文化連盟賞を受賞、毎年5回程度の演奏活動を続けています。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、定期演奏会には中央から著名な指揮者、ソリストを招き、その他岡山県内で活躍する演奏家との共演も度々行っています。また中国二期会等のオペラにも数多く出演し、岡山県郷土文化財団主催の地方演奏会で県内各地をまわっています。

倉敷音楽祭にも毎年出演し、瀬戸大橋架橋を記念し、小六禮次郎作曲「瀬戸内讃歌」の演奏をはじめ「アジア・太平洋の仲間たち」、ミュージカル「11匹のネコ」、「坂道は風の通り道」、オラトリオ「森の歌」、「メサイア」、オペラ「ラ・ボエーム」などに出演。今後の活躍が益々期待されています。

ミュージカル「温羅と桃太郎」出演者

・第1ヴァイオリン	佐藤 真理子	阿曾沼 和代	岡崎 良弘	岩瀬 裕子	陶山 容良
	中塚 えりか	平松 鋭子	福田 みどり	丸山 博樹	
・第2ヴァイオリン	樽谷 美幸	赤木 信子	木村 啓子	笹川 康一	竹村 知子
	柳井 典子				
・ヴィオラ	久磨 晶子	塩尻 容子	武本 克巳	増田 勝	三宅 美智子
・チェロ	石川 恵子	池田 誉	栗木 由美子	黒田 正典	田辺 幹夫
	田宮 真紀				
・コントラバス	本屋敷 勝信	小林 利江	難波 由宏		
・フルート	月本 裕子	浜園 佳恵	※大角 利江子		
・オーボエ	西村 生子	吉田 容子			
・クラリネット	福力 美保	渡辺 恭子			
・ファゴット	稲田 裕彦	中川 佳己			
・ホルン	文谷 功	板谷 信昭	小山 紀章	西崎 大修	
・トランペット	原田 宗範	高田 忍	山口 裕司		
・トロンボーン	松尾 浩寿	曾布川 拓也	※松本 弘一		
・打楽器	影下 明子	細美 肇	※藤井 由紀		
・ピアノ	※河合 知香子				

※…賛助出演

作者から

以前、「11匹のネコ」を、2回上演していただいたことがある。それは私の16歳のときの作品であり、楽譜やCDも出ているので、私としては管弦楽版を作ったにとどまった。

今回は、新作である。作曲の依頼を受けたとき、高名な詩人のなんばみちこ先生の、叙事詩とも呼べる台本がすでに完成していたが、これはオラトリオやカンタータ（第九やメサイアとっていただきたい）にこそ相応しい作品で、私がこれまで手掛けてきた台本とは違い、作品を穢してしまう怖れを抱いたため、文化振興財団および鈴鹿総監督と相談し、作曲者が台本も書き、そこでは、倉敷の人たちにしかわからない固有名詞や、史実らしき情報は盛り込まない、お伽話とするという創作態度を貫いた。そして、昨年9月のオーディションの日、なんば先生にはその趣旨をご理解いただき、しかしながら、先生の歌詞をできる限り盛り込ませていただくこと、原作者としてのお名前を冠させていただきたいことも続けてお許しねがった。つまり、このミュージカルは、歌詞の約半分を除いては、すべて私の創作ということになる。

舞台作品のような大がかりな作品の上演には、さまざまな困難がともなう。作曲の依頼から一年もたたないで行なわれる初演の成功を私は、ただ遠くから見守るほかはない。できることなら、数年後、更に磨きをかけた再演も期待したい。（青島広志）

演出案 青島広志・安藤伸二

[音響] プロサウンド：関野真剛

[照明] スペースアート：袖木健志

[舞台] スペースアート

